

令和6年度予算と事業計画決まる

健康保険の料率を引き上げて予算を編成 (千分の92)から(千分の100)に

社会は今、大きな変革期を迎えています。団塊の世代がすべて後期高齢者に移行する2025年問題、団塊ジュニアが前期高齢者に移行する2040年問題など、今後も少子高齢化による社会保障費用の増大や担い手不足等が見込まれています。厚生労働省が2月に発表した令和5年の出生数は過去最少の75.8万人(速報値)となり、少子化に歯止めがかかりません。

全国の健保組合は高齢者の医療を支えるために、多額の支援金や納付金を拠出しているため、社会の高齢化は健保組合の財政にも、大きな影響を与えます。

このような状況を受けて、政府は将来世代も含めた全世代の安心を保障し、社会保障制度の持続可能性を高めるために「全世代型社会保障」の構築を目指しています。

全国の健保組合が加入している健康保険組合連合会は、少子化対策に協力をしていくとともに、今後さらに減少が進む現役世代の負担軽減を実現するために、徹底した歳出改革等を国に対して求めています。

収入

当健保組合の令和6年度予算は、健康保険料率を(千分の92)から(千分の100)に引き上げて編成しました。これまでは、積立金を取り崩して収入を補い、事業を運営してまいりました。しかし、積立金の額にも限りがあるため、今年度は保険料率を引き上げさせていただくこととなりました。

令和6年度の予算総額は前年度より5390万2千円多い3億3498万円です。収入の71%が事業主と被保険者のみなさんから納めていただく健康保険収入(国庫負担金収入含む)で、前年度より1538万6千円多い2億3948万3千円を計上しています。また、保険料だけでは必要な額をまかなえないため、8500万1千円を積立金から繰り入れられました。

支出

支出のおよそ41%(保険料の57%)はみなさんとご家族の医療費や各種給付金に充てられる保険給付費で、前年度より196万円多い1億3846万1千円を見込んでいます。

高齢者医療制度への納付金は、前年度より5312万1千円多い1億3307万3千円で、支出全体の約40%(保険料の55%)を占めています。保険給付費と納付金の2科目だけで、保険料の予算額を上回るという大変厳しい状況です。

みなさんの健康づくりを応援するための事業として、保健事業費には1409万円を計上しております。健診や人間ドックの補助、さらに保健指導などを通してみなさんの健康管理をサポートしてまいります。これらの事業を活用して、病気の予防と健康づくりにお役立てください。

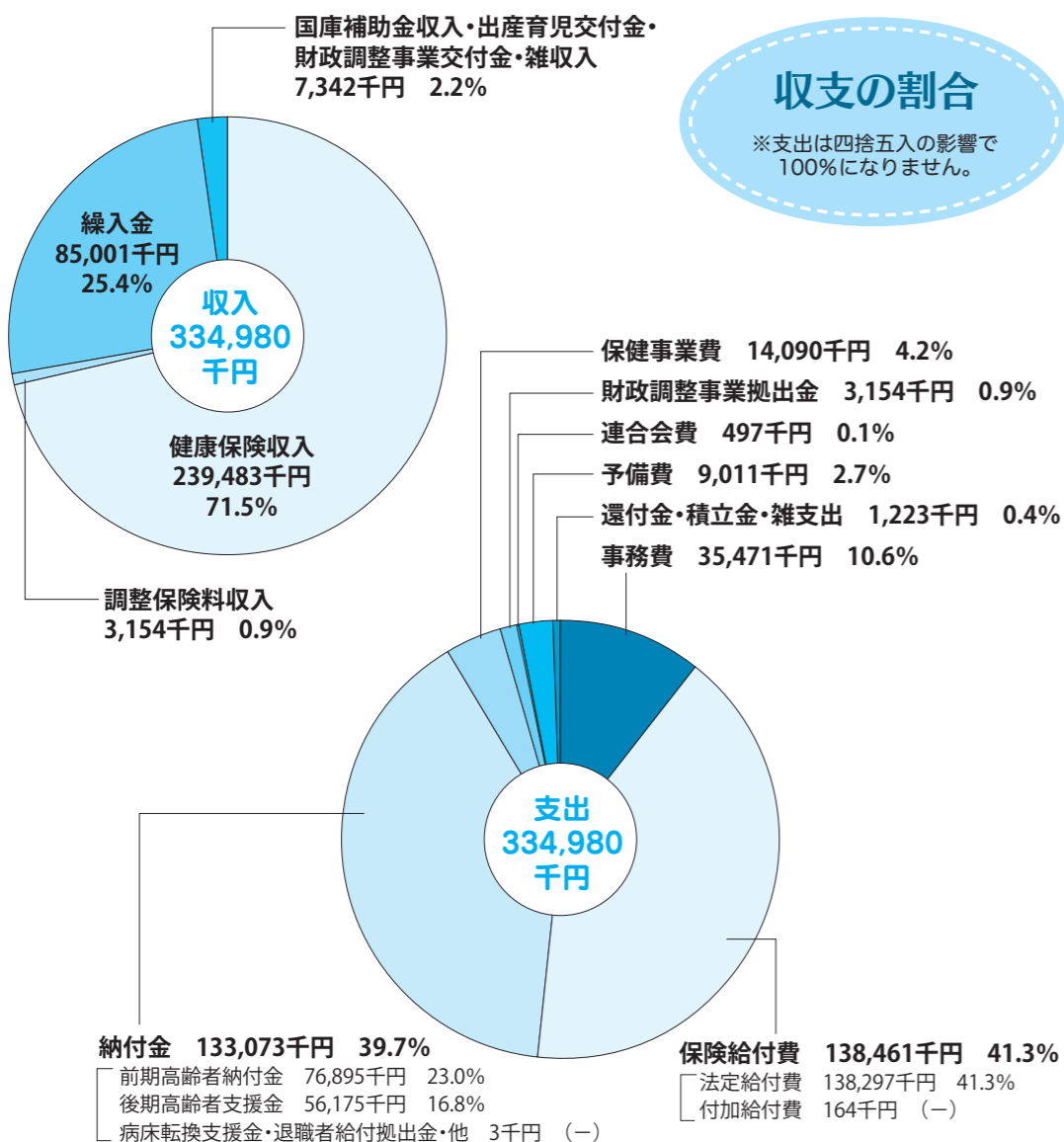
以上の結果、令和6年度は保険料率を大幅に引き上げたにもかかわらず、7899万5千円の経常赤字予算となりました。

健保組合は、事業主と被保険者が保険料を出し合って運営しています。大切な財源(保険料)を有効活用するために、みなさんにおかれましては適正受診の励行やジェネリック医薬品の活用など、医療費の節減にご理解・ご協力をお願い申し上げます。

そして何よりも、健康的な生活習慣を心がけるようにしましょう。食生活や運動習慣、睡眠時間の確保などに気を配ることは、病気や介護のリスク低下と、支出(医療費)の抑制にもつながり、さらには保険料の引き上げを抑制できます。職場で、ご家庭で健康づくりに取り組みましょう。

収支の割合

※支出は四捨五入の影響で100%になりません。



令和6年度も健康づくりをサポートします

当健保組合では、みなさんの健康づくりをお手伝いしてまいります。左記の事業を積極的に活用して病気予防と健康づくりにお役立てください。

保健・衛生知識の普及のために

- ホームページの開設
- 医療費通知(3カ月ごと)
- 保健図書の配布(新人対象)

病気の予防のために

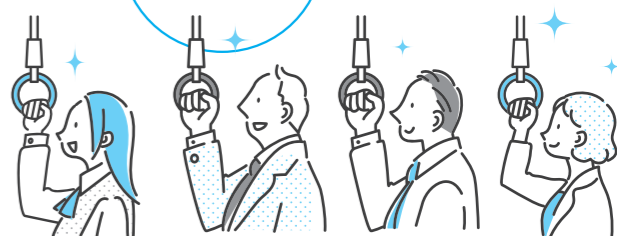
- 特定健診・人間ドック
40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に年1回実施
- 特定保健指導
対象者に実施
- 生活習慣病健診
被保険者・被扶養者全員を対象に実施

健康づくりは
日々の積み重ね!
簡単なことから始めて、
楽しく続けましょう♪

睡眠
適正な睡眠時間の確保と休養



運動
電車やバスでは座らない



栄養
バランスの良い食事

